

富山県感染症発生動向速報

(2025年第23週分・6月2日～6月8日)

■今週の主な動向

○百日咳の患者が今週23例（2025年累積303例）報告されました。

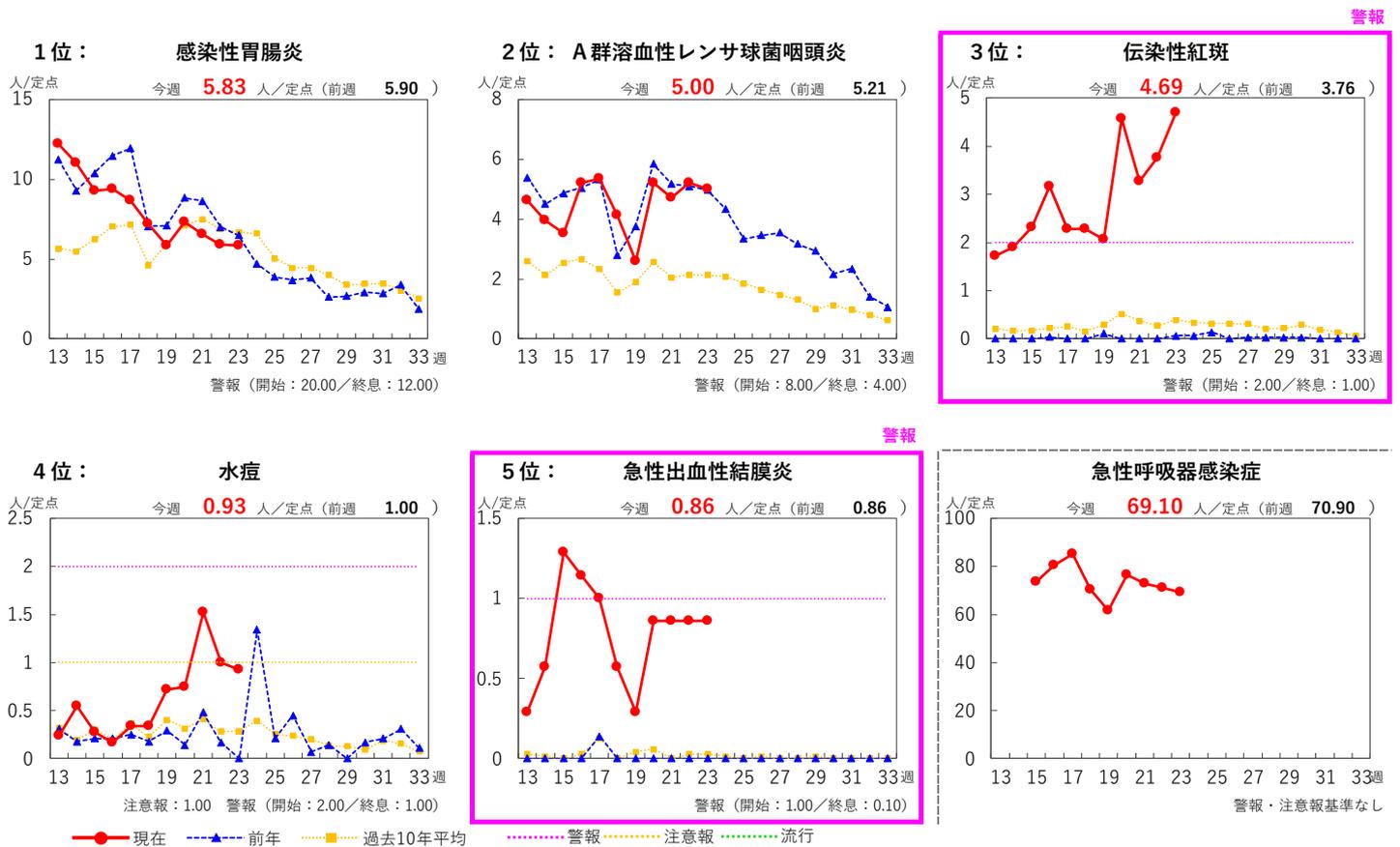
10～14歳の小学校高学年～中学生を中心に百日咳患者の報告が続いています。乳児（特に新生児や乳児早期）では重症化しやすいことから、同居する家族からの感染には注意が必要です（今週インフォメーション参照）。

○伝染性紅斑の報告数が多い状況が続いています。

伝染性紅斑の報告数は、第15週から警報開始基準値（2.0人/定点）を超えた状況が続いています。妊婦が感染すると流産等の原因になることがあるので注意が必要です（[第17週インフォメーション参照](#)）。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患＋急性呼吸器感染症（第23週・6/2～6/8）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 1件（20歳代、女性）
- 四類感染症 レジオネラ症 1件（50歳代、男性、肺炎型）
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件（10歳未満、女性）
- 梅毒 1件（70歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期）
- 百日咳 26件（①第21週診断分：10歳代、女性 ②第22週診断分：10歳代、男性
 ③第22週診断分：10歳代、女性 ④～⑦全て10歳未満、男性
 ⑧⑨共に10歳未満、女性 ⑩～⑮全て10歳代、男性
 ⑯～⑳全て10歳代、女性）



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通） HP：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>





2週間以上続く咳 百日咳かも！

《インフォメーション》

●百日咳

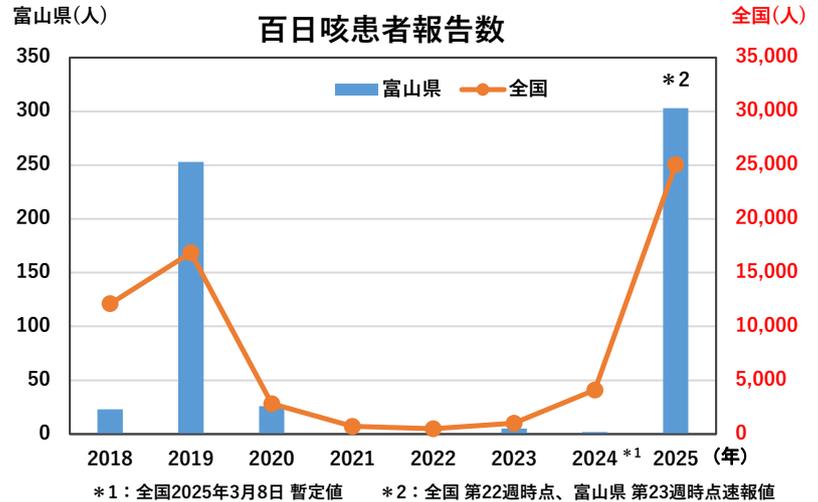
百日咳は特有のけいれん性の咳発作を特徴とする急性気道感染症です。百日咳菌を原因菌とし、感染経路は気道分泌物による飛沫感染、および接触感染です。感染力が非常に強いことが知られています。

全国の百日咳の報告数は、2024年以降、増加傾向にあります（上図）。特に2025年は、第22週時点で既に25,037人の報告があり、全数把握対象疾患になった2018年以降最多となっています。

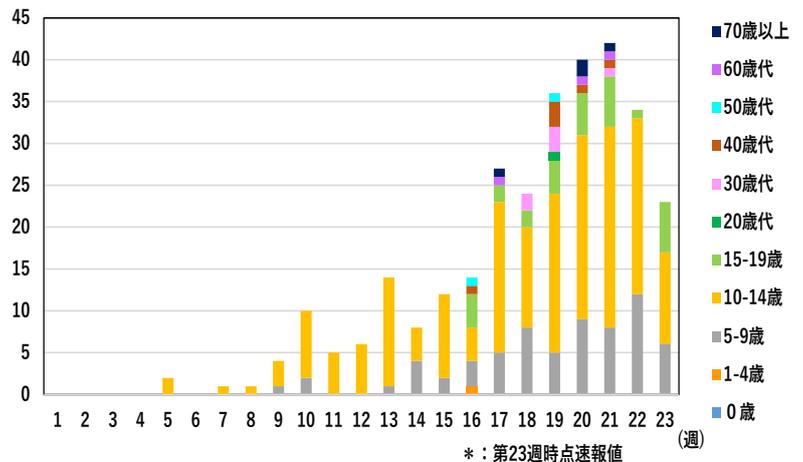
一方、県内の報告数は、2025年第23週時点で累計303人となっており、全国同様、2018年以降最多となっています。患者の年齢については、第13週までは10歳～14歳の小学校高学年から中学生の報告がほとんどでしたが、第14週以降は5歳～9歳、15歳以上の年齢も報告されています（下図）。

百日咳は特に乳幼児で重症化し、まれに脳症や肺炎を伴い死に至る場合があります。百日咳ワクチンは、乳幼児期の定期接種で計4回接種します。そのため、ワクチン接種年齢に達した子は、百日咳含有ワクチンの定期接種を早期に受けることをお勧めします。また、同居する家族からの感染にも注意しましょう。

百日咳の感染拡大を防止するには、医療機関での早期の診断、治療が重要です。百日咳にはマクロライド系抗菌薬が用いられますが、日本国内ではマクロライド耐性株の報告が増加しているため注意が必要です。学校保健安全法では特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌薬治療が終了するまで出席停止とされていますが、耐性菌の可能性も考えられるため、登校可能となっても咳が続く間はマスクなどの「咳エチケット」を心がけましょう。



(人) 百日咳患者報告数推移（年齢階級別、2025年*、富山県）



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第23週 2025年6月2日～2025年6月8日）

分類	疾患	今週報告分（第23週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核			1			1	5	1	8	4	29	47	
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1			1	4		5	4	16	29	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	1			2	
四類感染症	E型肝炎									2			2	
	A型肝炎								1	1			2	
	デング熱									1			1	
	レジオネラ症					1	1		1	2		4	7	
五類感染症	アメーバ赤痢									1		1	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4		5	9	
	急性脳炎									1			1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2		4	7	
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	5		7	3	11	26	
	水痘（入院例）									1			1	
	梅毒					1	1	2	1	3		11	17	
	百日咳		8	4		11	23	14	56	57	12	164	303	
	風しん										1		1	
	急性呼吸器感染症（ARI）定点 （48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	275 39.29	272 54.40	1,111 85.46	295 42.14	1,364 85.25	3,317 69.10	3,078	2,873	10,297	2,385	12,817	31,450
		インフルエンザ			1 0.08		1 0.06	2 0.04	928	853	1,648	975	1,875	6,279
COVID-19		12 1.71	1 0.20	8 0.62	4 0.57	5 0.31	30 0.63	830	333	922	624	794	3,503	
RSウイルス感染症		1 0.25				1 0.10	2 0.07	26	22	108	37	168	361	
小児科定点 （29定点）	咽頭結膜熱	1 0.25		9 1.13		3 0.30	13 0.45	56	24	191	3	51	325	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 1.25	8 2.67	57 7.13	7 1.75	68 6.80	145 5.00	93	204	1,056	138	1,418	2,909	
	感染性胃腸炎	26 6.50	11 3.67	31 3.88	7 1.75	94 9.40	169 5.83	622	477	1,225	399	3,073	5,796	
	水痘		3 1.00	1 0.13	3 0.75	20 2.00	27 0.93	2	27	28	15	199	271	
	手足口病			1 0.13		1 0.10	2 0.07	1	2	11	1	6	21	
	伝染性紅斑	6 1.50	14 4.67	41 5.13	10 2.50	65 6.50	136 4.69	56	130	431	47	509	1,173	
	突発性発しん			3 0.38	1 0.25	4 0.40	8 0.28	3	10	56	14	53	136	
	ヘルパンギーナ			2 0.25		3 0.30	5 0.17	16	1	7	1	5	30	
	流行性耳下腺炎		1 0.33		2 0.50		3 0.10	1	5	5	6	12	29	
	眼科定点 （7定点）	急性出血性結膜炎				6 6.00		6 0.86			4	92		96
		流行性角結膜炎							1		15	1	1	18
	基幹定点 （5定点）	細菌性髄膜炎										1		1
		マイコプラズマ肺炎	1 1.00		1 1.00	1 1.00		3 0.60	14	7	17	17	4	59
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										5			5	
入院サーベイランス （5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242	
	COVID-19による入院患者							74	68	51	112	181	486	

本週報告のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（2025年5月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		5月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症	1		2		8	11	1		10		33	44
		1.00		0.67		2.00	1.10						
	性器ヘルペスウイルス感染症		2			7	9		6	1		26	33
			2.00			1.75	0.90						
	尖圭コンジローマ									3		6	9
	淋菌感染症					1	1			1		5	6
						0.25	0.10						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	2	3		5	12	7	6	15	7	25	60
		2.00	2.00	3.00		5.00	2.40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							1				1	2

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。